2019 年 9 月 24 日

報道関係各位

GMO ペイメントゲートウェイ株式会社

クレジットカード情報非通過型「リダイレクト（リンク）型」の新モデル「リンクタイプ Plus」を提供開始

～専門的なプログラミング知識不要で、決済画面の設定が簡単に～

GMO インターネットグループにおいて、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを展開する GMO ペイメントゲートウェイ株式会社（東証一部：証券コード 3769、代表取締役社長：相浦 一成 以下、GMO-PG）は、総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」の接続方式である「リダイレクト（リンク）型（※1）」の新モデルとして、決済画面を短時間で簡単に設定できる「リンクタイプ Plus」を、2019 年 9 月 24 日（火）より提供開始いたします。

EC 事業者は、自社の EC サイトに「PG マルチペイメントサービス」をつなぎこむ際に「リンクタイプ Plus」を使用することで、専門的なプログラミング知識を持たなくても、簡単に商品購入手続きを行うフォーム（決済画面）の各種設定を行うことができます。

（※1）購入者のクレジットカード情報が EC 事業者の機器やネットワークを通過せずに、決済代行事業者のサーバー上に遷移し、決済処理を行うというもの。



サービス説明動画 URL ： https://www.gmo-pg.com/rd/linktype-plus-movie/

【「リンクタイプ Plus」導入の背景】

EC サイトにおいて、購入者が途中で購入をやめてしまう”カゴ落ち”の多くは決済画面で発生するため、EC 事業者からは、「購入者が求める決済手段を追加したい」「表示される決済画面を EC サイト全体のテイストに合わせたい」といったご要望をいただいております。

一方、GMO-PG の総合決済サービス「PG マルチペイメントサービス」では、EC サイトとの決済システムの接続において、EC 事業者がクレジットカード情報を保持することのない（※2）、非通過型の接続方式（リダイレクト（リンク）型／JavaScript 型（トークン型））を提供しています。リダイレクト（リンク）型の「リンクタイプ」は、EC サイトの決済画面を細かく設定できる一方で、専門的なプログラミングの知識や技能を要するうえ、決済手段を追加するごとに複数のファイルを作成・アップロードする手間がかかっていました。

そこで GMO-PG は、EC 事業者が必要な決済手段を自社の EC サイトへ簡単に追加でき、EC サイトに適した決済画面を作成できるよう、「PG マルチペイメントサービス」の接続方式において、新モデルの「リンクタイプ Plus」を提供することといたしました。

（※2）「改正割賦販売法」と実務指針である「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画 -2019-」では、EC 事業者に対し、クレジットカード情報の非通過型の決済システム導入によるカード情報の非保持化（カード情報を保存・処理・通過しないこと）、あるいは PCI DSS への準拠を求めています。

【「リンクタイプ Plus」について】

「リンクタイプ Plus」を用いた決済システムでは、決済画面における決済手段、デザイン等の要素を、すでに用意されている項目の中から選択するという簡単な操作で設定できるため、従来の「リンクタイプ」とは異なり専門的な知識は必要ありません。また、「リンクタイプ Plus」もクレジットカード情報の非通過型「リダイレクト（リンク）型」となるため、EC 事業者においては購入者のクレジットカード情報の非保持化を実現できます。

今後はデザインテンプレートや対応言語、決済手段の追加をはじめ、決済画面の URL を独自ドメインに変更することができる機能など、EC 事業者にとって利便性の高い機能の追加も予定しています。

■「リンクタイプ Plus」の主な特徴（2019 年 9 月 24 日時点）

・決済画面を短時間、簡単操作で設定可能
・21 種類の豊富なデザインテンプレート
・多言語対応（日本語・英語）
・複数デバイス自動最適化（レスポンシブデザイン）
・選択できる多様な決済手段

「リンクタイプ Plus」の詳細は、以下 URL をご覧下さい。
URL ： https://www.gmo-pg.com/service/mulpay/connection-types/linktype-plus/

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社について】

GMO-PG は、ネットショップなどのオンライン事業者、NHK、国税庁や東京都等の公的機関など 10 万店舗以上の加盟店に、総合的な決済関連サービス及び金融関連サービスを提供しています。決済サービスを中心に、加盟店の成長に資する付加価値サービスを提供し、年間決済処理金額は 4 兆円を超えています。（GMO-PG 連結企業群 2019 年 6 月末現在）

決済業界のリーディングカンパニーとして、日本のキャッシュレス化に貢献するべく、金融機関向けのソリューション提供、後払い決済・レンディングといった Fintech サービスの提供、IoT をはじめとする対面分野での決済事業など事業領域を拡大しています。また、海外での決済・金融関連サービスの提供、海外企業との資本業務提携などグローバル展開も進めています。

GMO-PG は、今後も新たなイノベーションを牽引し、安全性が高く便利な決済プロセスのインフラになることを目指してまいります。

【関連 URL】

・GMO-PG コーポレートサイト URL ： https://corp.gmo-pg.com/
・GMO-PG サービスサイト URL ： https://www.gmo-pg.com/

以上

【報道関係お問い合わせ先】
●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
企業価値創造戦略 統括本部
TEL：03-3464-0182　FAX：03-3464-2387
E-mail：pr@gmo-pg.com

●GMO インターネット株式会社
グループコミュニケーション部 広報担当　石井
TEL：03-5456-2695　E-mail：pr@gmo.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
●GMO ペイメントゲートウェイ株式会社
イノベーション・パートナーズ本部
TEL：03-3464-2323　FAX：03-3464-2477
E-mail：info@gmo-pg.com

【GMO ペイメントゲートウェイ株式会社】（URL： https://corp.gmo-pg.com/ ）

会　社　名	GMO ペイメントゲートウェイ株式会社　（東証第一部　証券コード：3769）
所　在　地	東京都渋谷区道玄坂 1 丁目 14 番 6 号　ヒューマックス渋谷ビル
代　表　者	代表取締役社長　相浦　一成
事　業　内　容	■総合的な決済関連サービス及び金融関連サービス
資　本　金	47 億 12 百万円

【GMO インターネット株式会社】（URL： https://www.gmo.jp/ ）

会　社　名	GMO インターネット株式会社　（東証第一部　証券コード：9449）
所　在　地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号　セルリアンタワー
代　表　者	代表取締役会長兼社長・グループ代表　熊谷　正寿
事　業　内　容	■インターネットインフラ事業　■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業　■仮想通貨事業
資　本　金	50 億円

Copyright (C) 2019 GMO Payment Gateway, Inc. All Rights Reserved.